

令和4年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] ジャンヌ・ダルクの預言とその実行		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	ジャンヌ・ダルクの名を一度は見聞きしたことがあるでしょう。彼女の事績を跡付けるだけでなく、生前死後に残された記録を通して、ジャンヌが壊滅状態のフランスにおいて何を目指し、行動したのかを考えます。			
授業方法と留意点	高等学校等で世界史を履修していなくても受講できます。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数35名】先着順で募集を締め切ります</b>				
< 11月2日 (水) 17:30~19:00 >				
第1講：「中世ヨーロッパ世界と預言」 ジャンヌ・ダルクは自らを預言者、すなわち神のメッセンジャーだとみなしていました。中世ヨーロッパ世界の特徴も念頭に置いて、彼女が思いを伝えた記録を分析し、「預言者」の存在とその役割を考えます。				
< 11月9日 (水) 17:30~19:00 >				
第2講：「オルレアンの攻囲戦と解放」 一方で、ジャンヌ・ダルクは自らをフランス軍の司令官ともみなしていました。1337~1453年まで英仏間で行われた百年戦争を背景に、彼女が戦った中仏オルレアンの攻囲戦について考えます。				
< 11月16日 (水) 17:30~19:00 >				
第3講：「英軍との戦闘の自制」 ジャンヌ・ダルク登場の背景となった百年戦争では、戦闘よりも時間をかけて和平交渉が行われていました。その中で、ジャンヌは戦闘を望んだといわれていますが、交渉の余地はなかったのでしょうか。				
< 11月30日 (水) 17:30~19:00 >				
第4講：「処刑から復権そして列聖へ」 ジャンヌ・ダルクはなぜ、処刑されたのでしょうか。また処刑されたのに、なぜ現在崇拝されているのでしょうか。彼女の処刑の理由や死後の伝説について、彼女をめぐる裁判の記録から考えてみます。				
その他	筆記用具			
テキスト	なし			
参考文献	佐藤猛『百年戦争—中世ヨーロッパ最後の戦い—』（中央公論新社、2020年）			
関連科目				
開講日時	11/2 (水)	11/9 (水)	11/16 (水)	11/30 (水)
	17:30~19:00	17:30~19:00	17:30~19:00	17:30~19:00
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-2843 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			
緊急連絡先	(当日緊急の場合のみ) 科目担当者E-mail: tsato@ed.akita-u.ac.jp			